

## 第4学年 総合的な学習の時間（防災学習）指導案

令和元年 11月 27日（水）

学習者 4年生（13名）

指導者 首藤 聡史

### 1. 単元名 防災・減災について考えよう

### 2. 単元について

2011年の東日本大震災による未曾有の被害、2016年の熊本・大分地震、更に近年毎年のように起こる多くの自然災害は、日本全国いっどこで命にかかわる大災害がおこってもおかしくない状況にあるということを私たちに教えてくれている。特に、3年前の熊本・大分地震では、佐賀県でも揺れを感じたこともあって、子どもたちの心に地震の恐ろしさが刻み込まれている。

リアス式海岸の素晴らしい自然環境によって形成される佐賀県半島は、関アジ・関サバの獲れる優れた漁場として地域の人々に利用されてきた恵みある海に囲まれている。しかし、豊かな海の恩恵を受けてきた半面、海に苦しめられた歴史も存在する。そして、近い将来必ず起こるであろうと言われている南海トラフ沖大地震は、この佐賀県にも大きな被害をもたらすことが想定される。

このような地域で育つ子どもたちに、日頃から命をまもるために地震についての正しい知識をもたせ、大地震・津波に対して十分な備えが必要であることを認識させておくことが大事である。

佐賀県小学校では、津波を想定した避難訓練や地域の避難場所をめぐるチャレンジウォークラリーを毎年行っている。また遠足に行く途中において、本校の第3次避難場所に指定されている佐賀県高等学校跡地への避難の仕方の確認や避難三原則等の学習を積んできている。発達段階による違いはあるが、生活科や総合的な学習の時間の中で、いざという時、どのように行動すればよいかを考えさせてきた。

4年生の学習では、国語科の「調べたことを整理して新聞を書こう」という単元のなかで、津波による避難場所や過去の地震・地震への備えをテーマにして調べ学習を行ったり、社会科の「大きな災害にそなえる」の単元において、防災袋の中身に興味をもたせ、自宅の防災袋を実際に持って来させて学習したりしてきた。

本単元は具体的に避難場所の確認、避難場所への経路、避難場所の特徴などを詳しく学習することで、防災・減災に対して自分で行動するためのきっかけづくりとなる教材であると考えられる。

子どもたちは、1学期に行った「福祉の学習」における車いす体験や高齢者疑似体験を通して、ちょっとした段差や坂道が高齢者や車いすを使用している人にとって大きな障害になることを学習した。そこで、私たちが避難する場所に指定されているところがいざという時に、自分たちだけでなく多くの人が避難できる場所になっているかを考えさせるところから始めていく。何度か行ったことのある避難場所が、どんな特徴をもっているのかを

意識させながら現地調査を行っていく。そして、そのことをマップにまとめたうえで、いざという時に自分たちがどう行動するべきなのか考えさせていきたい。そして、その学習を通して感じたことや考えたことを家族や地域の方などに伝えていくという目的をもたせて学習を進めていく。その際に、今まで積み重ねてきた他教科での学習内容も含めて、表現方法を工夫しながらまとめていかせたい。また、その発表により「何を考えてもらいたいのか」「何を感じてもらいたいのか」等、はっきりとした思いをもたせ、発表の準備に取り組ませたい。またその子どもたちの思いがしっかりと伝わったかどうかを感じとらせるために、本時の発表会では参加者にアンケートを通して意見を聞き、その結果をもとにして今後の学習に対する意欲を高めていきたい。

### 3. 指導計画（総合的な学習の時間 30時間）

#### 【1学期】

総合的な学習の時間

「福祉について考えよう」・・・車いす体験・高齢者疑似体験を通して  
 国語科 「調べた事を整理して新聞を書こう」・・・過去・未来の地震・津波  
 社会科 「大きなさい害にそなえる」・・・防災袋の中身を調べよう

#### 【2学期】

国語科 「アップとルーズで伝える」

#### 【総合的な学習の時間 2学期】30時間

単元	主題名	時数	活動内容
1	地域（自分）の避難場所について知ろう	2	保護者などに聞き取る。
2	避難場所を見学する計画を立てよう	1	見学の視点を決める。
3	避難場所を見学しよう	6	写真で記録しその場所の良さ、問題点を話し合う。
4	避難場所を校区安全マップにまとめよう	4	学習メモや記録をもとにして、マップにまとめる。
5	テーマ別に学習したことを整理してまとめ、発表の準備をしよう	12	「過去・未来の地震・津波について」、「避難場所の特徴について」、「災害に対する備えについて」のテーマ別に、3グループに分かれ、学習内容を整理して発表の準備をする。
6	防災・減災についての、私たちの思いを伝えよう（本時）	1	（本時）3グループで発表する。
7	多くの人にみんなの考えを伝えよう	4	掲示・発表会・チラシ等を使って考えを広げる。

#### 4. 評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象に対し、自分なりにかかわりこだわりをもって追究することができる。</li> <li>・集めた情報に対して、自分なりの考えをもち工夫してまとめることができる。</li> <li>・情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の関心からふるさとの課題を設定し、解決方法を考えて追究している。</li> <li>・教師の支援により、手段を選択し、情報収集している。</li> <li>・問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したりして理解し、多様な情報の中にある特徴をみつけている。</li> <li>・相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</li> <li>・学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けて、探究活動に取り組もうとしている。</li> <li>・課題解決に向けて、身近な人と共同して探究活動に取り組んでいる。</li> <li>・自分のよさや自分のできることに気付き、課題解決に向けて取り組んでいる。</li> <li>・自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとしている。</li> <li>・自分とふるさとのつながりに気付き、ふるさとの活動に参加しようとしている。</li> </ul>
評価方法	活動観察 ワークシート 学習メモ	発表原稿及び発表方法 活動観察 ワークシート 学習メモ	活動観察 ワークシート 学習メモ

5. 本時案

- (1) 主題名 防災・減災についての、私たちの思いを伝えよう  
 (2) ねらい 防災・減災についての自分たちの思いを、発表会に参加している方に伝え、各グループの思いに沿った評価をしてもらうことにより、より工夫して多くの人に広めていこうとする意欲を高めることができる。

(3) 展開

学習活動	時間	教師の指導・支援	評価・資料
1. 今までの活動を振り返り、本時の学習のめあてをもつ	5	本時の発表のめあてを確認する。発表会の参加者に、発表会の趣旨を説明しアンケート（ワークシート）の記入をお願いする。	
2. グループごとに自分たちが調べたことを発表していく。発表を聞くグループは、そのグループの思いが伝わったかを考えながら聞き、ワークシートに評価していく。	30	<p>めあて：防災・減災についての、私たちの思いを伝えて、行動にうつしてもらおう。</p> <p>グループごとに発表させる            （各グループ 10 分）</p> <p>1. 「過去・未来の地震・津波」のグループ  <b>【1 グループの思い】</b>            発表を聞いた人たちに地震・津波に対する備えをはじめようという気持ちになってもらいたい。</p> <p><b>【発表内容】</b>            ①阪神・淡路大震災や東日本大震災等について            ②津波の起こるわけ            ③南海トラフ沖地震について            ④感想・呼びかけ            ・日本地図や簡単な図等を使って発表する。</p> <p>2. 「避難場所の特徴」のグループ  <b>【2 グループの思い】</b>            避難場所の高さや特徴を確認して、高齢者の方や車いすを利用する方々の避難に協力しようと思ってもらいたい。</p> <p><b>【発表内容】</b>            ①避難場所について            ②各避難場所の特徴</p>	<p>評価：めあてに沿って発表することができたか。</p> <p>資料：過去の地震の被害が書き込まれている日本地図            資料：地震・津波が起きる原理を記した図            資料：被害予想の数値が書かれた図            資料：4年生佐賀関校区災害マップ（避難場所・海拔・特徴）            資料：海拔の比較図</p>

<p>3. それぞれの発表の良さを出し合う。</p> <p>4. 本時のまとめをする。</p>	<p>5</p> <p>5</p>	<p>③佐賀関小学校に備えられているもの  ④家にいるときどこへ避難するか  ⑤感想・呼びかけ</p> <p>・避難場所校区マップを使っての説明  ・写真及び比較図を見せながらの説明</p> <p>3. 「災害に対する備え」のグループ  <b>【3 グループの思い】</b>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 非常用持ち出し袋の準備や中身の確認をしようと思ってもらいたい。 </div> <b>【発表内容】</b>  ①非常用持ち出し袋について  ②非常用持ち出し袋の中身について  ③非常食について  ④調べた感想・呼びかけ  ※実際の持ち出し袋をつかっただけの発表図（アンケート）等を使っての発表</p> <p>○友だちの発表の良かったところをワークシートに書かせ、発表させる。  ・良かったところ等</p> <p>次の時間は今回の感想や参加者のみなさんのアンケートをもとにして、より良いものに作り替えていこうと呼びかけて、次の活動への意欲をもたせる。</p>	<p>資料：実際の非常用持ち出し袋</p> <p>資料：ワークシート  評価：友だちの発表の良かったところを書けたか。発表できたか。</p>
---	-------------------	--	--

アンケートへのご協力をお願いします



1班：僕たちの班は、みなさんに地震や津波に対して、少しでも早く備えをしてもらいたいと思っています。

ぼくたちの思いは伝わったでしょうか？  
はい（ ） いいえ（ ）

どんなところで、  
そう思ってくれましたか？

2班：私たちの班は、みなさんの考えている避難場所の高さなど、もう一度確かめてほしいと思っています。また、避難する時には高齢者の方や車いすを利用している方の避難に協力してほしいと思っています。



私たちの思いは伝わったでしょうか？  
はい（ ） いいえ（ ）

どんなところで、  
そう思ってくれましたか？



3班：私たちの班はみなさんに、持ち出し袋の準備や中身を確認してもらいたいと思っています。

私たちの思いは伝わったでしょうか？  
はい（ ） いいえ（ ）

どんなところで、  
そう思ってくれましたか？

子どもたちへのアドバイスがあれば教えてください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

みんなで発表の反省をしよう。



1班：僕たちの班はみなさんに、地震や津波に対して、少しでも早く備えをしてもらいたいと思っています。

2班：私たちの班は、みなさんの考えている避難場所の高さなど、もう一度確かめてほしいと思っています。また、避難する時には高齢者の方や車いすを利用している方の避難に協力してもらいたいと思っています。



3班：私たちの班はみなさんに、持ち出し袋の準備や中身を確認してもらいたいと思っています。

友だちの発表で、良かったところを伝えましょう。

( ) 班は、 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

( ) 班は、 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_